

平成29年度 医療情報の理解促進に関する研修会 アンケート結果

■開催日時:平成30年2月14日(水曜日)15時～17時

■テーマ:人生の最終段階における医療とケアのあり方

～本人・家族とともに考える意思決定

講師:東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部診療部長

三浦 靖彦氏

■開催場所:東京都健康プラザ「ハイジア」研修室

■参加者:120名(うちアンケート回答者107名)

(回答者内訳:看護師54名、MSW34名、事務8名、

その他10名、未記入1名)

I 都民(患者・家族)への説明が難しいと感じること(複数回答可)

- | | |
|-------------|------|
| ①医療機関の機能分担 | (58) |
| ②医療費・その他の経費 | (27) |
| ③介護保険施設 | (19) |
| ④介護保険制度 | (11) |
| ⑤在宅療養 | (35) |
| ⑥その他 | (8) |

- ・医療者との関係
- ・他職種(医師)との連携

II 今後の「理解促進に関する研修会」で取り上げて欲しいテーマ

○意思決定など(6)

- ・DNAR
- ・意思決定支援について
- ・安楽死について、尊厳死について
- ・医療をどこまで行うか
- ・治療の選択で医師の方針に反した時、見捨てるのではなく、こんな治療で生きていけるという展開のテーマ。
- ・改定後の人生の最終段階における医療の研修会をしてほしい。

○独居などの方への対応(5)

- ・単身、身寄りのいない患者さんへの支援(医療費の支払い、転院ができない、後見人相当ではない人に使える制度は?)
- ・独居、親族疎遠、上記のような状況下における患者に対する看取りを考える際、チーム連携の有り方などを学びたいです。
- ・独居の認知症について
- ・難病、無料低額診療事業、身寄りのない方への対応
- ・障害サービス(身障手帳)と介護保険サービスの上手な使い分け等、就労支援、無料低額診療事業

○連携など(5)

- ・一般の方への病院連携(病院の違い)、介護施設における医療の限界等をどう理解してもらえるか。
- ・医療チームにおいて、他職種とうまくコミュニケーションが取れない時(神になってしまう時)、どのようにコミュニケーションを取ったら良いのか、機会があれば知りたいです。
- ・地域の医療機関で行っている研修やカフェのような具体的に実際やっていることが知りたい。
- ・地域の連携(成人になった重症心身障害者も小児科が診ていて、なかなか地域の内科(病院、診療所)への引継や連携ができない。)
- ・訪問看護師との連携

○ACP第2弾(2)

- ・今日のテーマの第二弾をやってほしい。当院の医師や看護師にも聞いてもらいたい(まずは院長かもしれません)
- ・更なるアドバンスケアプランニングをききたい。